



～動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” とは～

私たち人間の社会は、家族の一員として欠かせない存在であるペットだけでなく、日々の生活を支えている産業動物、医療や福祉に貢献する動物、生物多様性の保全に貢献し、自然環境のモニターとなる野生動物など、さまざまな動物たちとのかかわりの中で成り立っています。

このような社会的背景のなかで、獣医師が果たす役割に対する期待はますます高まってきており、獣医師の社会的責任も次第に大きなものになってきています。

「動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」は、動物への医療の提供をはじめ、畜産物の生産から流通にいたる安全性の確保と生産性の向上、人と動物の共通感染症への対策、医薬品の研究・開発、獣医学の教育・研究、動物福祉や愛護、野生動物対策など、多岐にわたる獣医師の役割と活動を広く普及するために、2007年から毎年継続して行っているイベントです。

また、このイベントは、獣医師の役割への理解の向上を目的として、世界獣医師会（WVA）が各国での開催を提唱している「World Veterinary Day」に基づき、WVA加盟獣医師会である日本獣医師会が開催するの日本イベントとしての役割も併せ持っています。

このイベントでは、獣医師の仕事や動物の役割を、ステージイベントやブース展示などを通じて分かりやすく紹介しています。誰でも気軽に参加できるプログラムもあり、楽しみながら多くのことを学び、動物や獣医師への理解を高めることができるイベントです。

—動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。—

動物感謝デーなど、日本獣医師会のあらゆる活動は、獣医師会活動指針に掲げている上記の理念に基づいて行われています。これは、動物と人、およびそれらを取り巻く環境(生態系)の健康は、互いにつながっており、ともに健全な状態でなければならないという考え方です。

なお、この理念は、「マンハッタン原則」が提唱する「One World, One Health」の理念に基づいています。



【ステージイベント】

歌やダンスなどを交えて獣医師の活動を紹介するプログラムやトークショーなど、楽しみながら動物や獣医師について学ぶことができます。



【一日獣医師体験】

白衣を着て聴診器をあてたり、カルテに動物の状態を記入するなど、小動物診療の現場を体験できる子供たちに人気のコーナー。体験を通して、小さいのちについての理解を高めます。



【地方特産品コーナー】

食の安全を支える獣医師の仕事を理解してもらうためのコーナーで、地方獣医師会が運営しています。各地のご当地グルメの紹介や販売などが行われ、毎年行列ができる人気コーナーです。



【ブース展示】

多くの企業や団体が出展し、動物や動物を取り巻く環境などについての展示を行います。体験型のプログラムを実施しているブースもあり、親子で楽しむ姿も多く見られます。

主催：  公益社団法人 **日本獣医師会**

 [公益社団法人日本獣医師会のホームページへ](http://www.jvma.or.jp) 